

農業用ため池における事故の発生状況

農業用排水施設の水難事故

- 宮城県内の農業用排水施設において、平成30年度から令和5年度までに6件の農業用ため池における事故が発生しています。
- 農業用ため池における水難事故の発生状況は、以下のとおりです。

発生年月	事故種別	年齢	事故の状況
R2.5月	転落死亡事故	20代 男性	会社の同僚と釣りをしていたところ、誤って転落した。
R3.5月	転落死亡事故	80代 男性	「ため池に人が浮いている」と通報があった。
R4.4月	転落死亡事故	10歳未満 男児	兄と友人と釣りをして遊んでいた際にため池に転落した。
R5.3月	転落死亡事故	年齢不明 男性	近隣住民から、ため池に人が浮いていると警察に通報があった。
R5.4月	転落死亡事故	50代 女性	女性がため池で死亡している状態で発見された。
R5.6月	転落死亡事故	50代 男性	ダンプカーがガードレールを突き破りため池に転落した。

水難事故により、尊い生命が失われている。

安全対策の実施状況（ソフト対策）

ソフト対策の考え方

- 学校教育との連携を図り、迅速かつ広域的な周知及び継続的な動画の活用を図ります。

ソフト対策の実施内容

- 「宮城県農業用排水施設安全対策委員会」における安全対策の検討と周知（毎年度4月開催）
- 県政広報誌への掲載及びラジオでの呼びかけ
- 県教育委員会と連携し、以下の取組みを実施
 - (1) 警察署や消防署、教育委員会等が参加する会議での情報共有
 - (2) 学校向けに配布する広報誌への情報掲載
 - (3) 全小学校に動画活用について案内するとともに保護者等への一斉メール配信の実施
 - (4) 職員による小学校への出前講座の実施
- 注意喚起動画を県広報課YouTubeチャンネルで公開（令和4年7月）



広報誌でのお知らせ



小学校での啓蒙活動



ため池事故防止・注意喚起動画